

◎ アメリカ大統領選挙 (11月 一般投票、12月 選挙人投票)

1 制度 (間接選挙)

- 教科書では、有権者は選挙人を選び、その選挙人が大統領を選ぶ制度とされている。
実際は、有権者も一般投票で大統領候補者の名前を書いて投票。
- 選挙人は各州に割り振られる (その州で選出される上院議員+下院議員の数と同じ)。
なお、首都ワシントンDCは連邦の直轄地であり、いずれの州にも属しておらず、上下両院とも議席配分がないが、大統領選に関しては、選挙人3人が割り当てられている。
共和党、民主党とも、各州で自党の候補者に投票する選挙人団を、その州の定数と同じ人数分用意
- 一般投票の結果が出ると、「A州ではX候補者が勝利して選挙人○人を獲得、B州ではY候補者が勝利して選挙人△人を獲得」のように報道されるが、これは、A州ではX候補者に投票する予定の選挙人○人が、B州ではY候補者に投票する予定の選挙人△人が選出されたということ。ほとんどの州では、一般投票で勝利した候補者がその州に割り当てられた選挙人全員を獲得する仕組み。
- 大統領の正式な選出は、選挙人の実際の投票による。時に、選挙人が別人に投票することもあるが、その投票は有効とされることが多い。
- 選挙人総数の過半数を獲得した候補者がいない場合は、決戦投票となる。大統領については、得票の多い候補者3名以下の中から下院が選出、副大統領については、上位2名 (同点者が複数いる場合は、同点者全員) から上院が選出する。(詳細は後述)

2 任期

- 周知の通り、任期は4年（ただし、前任者の死亡又は辞任により副大統領から昇格した場合は、前任者の残任期間）で、再選まで可能。
- 憲法には、当初、現在のような3選禁止規定はなかったが、初代大統領ワシントンが「3選は非民主的」と言って2期8年で引退し、これが大統領任期の上限に関する慣例となった。
しかし、1932年に初当選したフランクリン・ルーズベルトは、1940年に3選、1944年に4選を果たし(1945年4月に死亡)、慣例は破られた。
- その後、憲法改正により(修正22条/1951年発効)、3選は憲法上禁止された。
なお、前大統領の任期中に昇格によって大統領に就任した場合は、残任期間が2年以内であれば、さらに2回の再任が可能であり、最長で10年弱大統領を勤めることができる（残任期間が2年を超える場合は、再任は1回だけ）。

3 前回(2016年)の結果

- 一般投票

	ドナルド・トランプ（共和）	ヒラリー・クリントン（民主）
得票数	6298万4825票（46.4%）	6585万3516票（48.5%）
勝利州	30州＋メイン州の一部	20州＋ワシントンDC
獲得選挙人	306人	232人

- 選挙人投票

ドナルド・トランプ 304人（2人が造反）……当選
ヒラリー・クリントン 227人（5人が造反）

※1（制度の変遷）最初は、選挙人が1人2票を投票し、1位が大統領、2位が副大統領となる方式。

- ・ 第1,2回(1788,92年)は、選挙人全員がワシントンに投票したため、問題なく決定。

なお、副大統領は、2票目の票の過半数を獲得したJ.アダムズが2回とも当選した。

第3回(1796年)は、連邦党のJ.アダムズが1位、民主共和党のジェファースンが2位となって、対立する政党のトップが正副大統領に当選し、政権運営に支障が生じた。

さらに、第4回(1800年)は、民主共和党からジェファースンとアーロン・バーの2人が立候補し、同党としては、バーは副大統領候補のつもりであったが、選挙人の投票で両者が同数となってしまった。このため、決着が下院での決選投票（州ごとに集計し、16州の過半数9州を獲得した候補者が勝ち）に持ち込まれたが、連邦党の議員がバーに投票したため、ジェファースンは毎回8州しか獲得できず、35回の投票の末、連邦党のハミルトンの働きかけで、ようやくジェファースンが大統領に当選した。

- ・ このように、1人2票制の欠陥が明らかとなったため、1804年に憲法改正が行われ、選挙人は大統領と副大統領をそれぞれ選出する方式（現在と同じ）に変わった。

※2（決戦投票制度）現行制度では、大統領の決戦投票は、得票の多い候補者3名以下を対象として、下院が選出する。

下院での投票は、議員1人1票ではなく、選出州ごとに議員団として1票（各州1票）を有する。大統領選出には、全州の過半数を獲得することが必要。

・ 実例は1回。1824年の大統領選挙では、民主共和党から4人が立候補、アンドリュー・ジャクソン(99票)、J.Q.アダムズ(84票)、クロウフォード(41票)、クレイ(37票)となり、過半数を獲得した候補者がいなかった。上位3名による下院での決選投票では、決選投票から外れたクレイ候補(下院議長)が、政策的に近いアダムズを支持したため、第1回投票で、アダムズ13州、ジャクソン7州、クロウフォード4州となり、アダムズが逆転勝利した。

・ なお、副大統領の決戦投票は、上位2名（同点者が複数いる場合は、同点者全員）から、上院が選出する。こちらは、議員1人1票で、議員総数の過半数の獲得が必要。

実例は、これも1回。1836年の選挙で、民主党のリチャード・メンター・ジョンソンが147票を獲得したが過半数に1票及ばず、2位のグレンジャー(ホイッグ党/77票)との間で上院での決戦投票が行われ、ジョンソンが33票でグレンジャー(17票)に勝利した。